

雪山教室 北八ヶ岳 天狗岳 2008年2/29(金)夜～3/2(日)

西川紀子 記

A班 L.中林(総L)・高畑・寺田・利根川(わたすげ)

B班 L.但野・佐々木(正夫)・亀井・西川(紀)

C班 L.本木・土田・国領・山田

D班 L.今西・稲葉・吉田(砂)・西川(清) 会員15名・一般参加1名

入会して、初めての会山行で、歩けるか、テント生活は大丈夫だろうかと・・・とても不安な出発でした。

2/29(金) それぞれの車で出発 道の駅 小淵沢で前泊した。このようなところで寝るのも初体験、コップ半杯のビールで熟睡。

3/1(土) 曇り～にわか雪

渋・辰野館に移動し、入山準備。駐車場や道路は凍っていて、つるつるの状態。数人の方が転んでしまいました。雪山教室ということもあり、ビーコン、シャベルを携帯(不参加者より借用・会装備含む)しての入山となる。ハイテクの時代か荷物は増えるが、安全も大事なことだし。それぞれの班でチェックを行い、入山開始。

辰野館より八方台に至る登山道は、踏跡は全くなく、かろうじてそこが登山道であると判別できる程度の凹みしかなかった。ワカンはずけず、つぼ足で出発、八方台まではゆるやかな登りであった。

八方台からしばらく歩くと、冬期閉鎖中の唐沢鉱泉へ向かう林道に出た。ゆるやかな雪の登り道が続いていた。八方台から1時間半程で唐沢鉱泉に到着、ここからワカンを付け、西尾根に取り付くことになった。つい自分のわかんをひっかけてしまったり、なかなかむずかしいものでした。

西尾根の雪は、膝下位まであり、“なんかすごいところにきてしまったぞ”とみなさんの活気に対しとにかく歩かなければの思いでした。

「100歩進んだら、どんどん代わって下さい～」と、中林リーダーが後ろから呼びかけるが、ラッセルするのが楽しいような方もいらした一方、私は10歩で疲れ果てました。背中は重いし、わかんなんてものはどう歩いたらよいのやらわかんなかったです。

稜線(唐沢鉱泉から高度差280m)に2時間程で到着しました。

道標より少し上がったところでテント設営となった。樹林帯であり、テントを張るスペースは殆どない。シャベルで整地するものの、腰は痛いし、疲れるで大変!!私にとって、このような冬山の中でテントなんてのは入会しなければ、経験することのないことです。A班のテントは6～7人用スペースであったため、場所の確保に苦労したようです。重かったでしょうねと皆さんの体力にまたおどろくばかり。

テントの設営が終わったのが14時過ぎ。中に入れた時はうれしかったです。新人なのに一番よい席にすわってしまい反省。次回は気をつけます。

夕食後、翌日の行動時間に関してリーダーの方たちが会員と相談を行ったとこ

ろ、雪の状態を考えると明日のピークハントで天狗岳の頂上に立てない可能性があり、撤退する時刻を決めておく必要があるとのことでした。

このあと初めて無線をまともに使ったんですが、よかったんだか、どうかとても緊張してました。下山してから温泉に寄ることと、帰りの中央道の混雑を考えると、辰野館への到着目標は 14 時となった。逆算していくと、テント場発 11 時、撤収 1 時間とすれば天狗岳からテント場着が 10 時、明朝は 4 時起きで出発が 5 時半と決めていたので、ピークハントに使える時間は往復 4 時間半となった。

3/2(日) 快晴

4 時起床、出発に先立ち、各班にピークハントを終了して引き返してくる時間を通知される。我々 B 班はきっかり 5 時半に出発し、暗い中、ヘッドランプをつけ、ルートを判断しながら 4 人で交替でラッセルでした。(私も昨日よりはちょっと進歩したかしら) と思えました。なんといっても背中が軽いのはよかったです。遅い 2 班(A 班および D 班)は 6 時出発となってしまい、合流できず、だんだん朝やけがあわられてきて、ちらちらと景色がステキな上、風もないすばらしい朝でした。

1 時間半程で樹林帯が切れ、すばらしい眺望が開けた。八ヶ岳から南アルプス、中央アルプス、御嶽山、北アルプスは鹿島槍まで見渡すことができた。

2 班が第二展望台と西天狗の鞍部付近に到達した時、後続グループが 2,510m の小ピーク(第二展望台)に見えた。さて、ここまで来て、頂上に行くことは出来るのだろうか!! 無線で GO サインの連絡があり、あとはがんばるのみ。後ろからは今西さんと西川(清)も来るとのことである。あとの 6 名は残念ながらの引き返すことになりました。最後のピークへの上りに入ると、雪面は凍っている状態なので、アイゼン着用となり、昨年買ったばかりのペツルのアイゼンをセット出来たその時やそばに今西さんの姿。“はやーい”のに驚き、後ろを付いて行く。頂上に着いた時はとてもうれしく、先行していた亀井さん佐々木さんと握手。今西さんは夏以来久しぶりのピークハントだと感激のこと。みなさんそろったところで写真撮影となりました。

下山はテントにむかって歩くのみながら、B 班の 2 人は速く途中で離されてしまいました。テント撤収後は快晴のなか、これまた懸命の歩きでした。今回の山行が大成功に終わりましたこと、感謝です。これからはなるべくみなさまと同じペースをこなせるようになりたいです。

但野さんの GPS による軌跡

3/1(土) 辰野館 7:30~八方台分岐 8:35~10:10 唐沢鉱泉 10:30~

西尾根稜線 2,150m 付近(テント場) 12:40

3/2(土) テント場 5:30~第一展望台 6:55~第二展望台 7:50~

天狗岳 8:45~第二展望台 9:30~第一展望台 10:00~

10:20 テント場 11:00~11:30 唐沢鉱泉 11:50~

八方台分岐 12:30~辰野館 13:10